

World's First — World's Finest

Home Site map

Contact Us

Product

Topics

Advertising

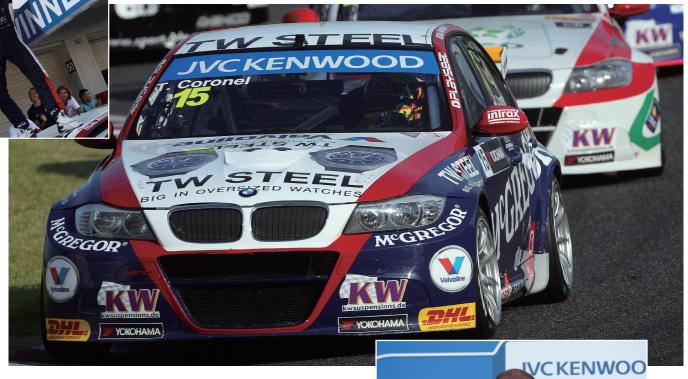
Company

Web Shop

履歴: 2013年10/6,6/01,30 2012年6/21,2/28 2011年9/10 2010年3/10,4/20,12/15

Insight Report 2013

■WTCC日本ラウンド鈴鹿で、バルボリンがサポートする トム・コロネルが逆転優勝!



毎回、熾烈なバトルを展開するWTCC(世界ツーリングカー選手権)も終盤。 第10戦となるラウンド19&20は9月21~22日、快晴の鈴鹿サーキット東コ ース、2.243km×26周で行われた。ラウンド20となるレース2はWTCCに とって記念の200回目。それを制したのはバルボリンがサポートするトム・ コロネル/BMW320TCだった。

「日本で勝ちたかった」と語るトム・コロネル。1999年のフォーミュラニッポン でのチャンピオンをはじめGTやF3など日本でのレース経験が豊富なだけに、

日本は言わば第二の故郷。その鈴鹿を知り尽くしているコロネルは当初からレース2に焦点を絞っていた。まず予選で9番手の好ポジ ションを手にする。ローリングスタートとなるレース1では手堅く走りマシンのダメージもなく8位に着ける。ここまではコロネルと彼の チーム、ROALモータースポーツにとって完璧なレース運び。すべてはリバースグリッドとなるレース2に賭けていた。そして迎えたレース2 では2番手グリッドとフロントローに着ける。ポールポジションは同じBMW320TCを駆るメルディ・ベナーニ。共にFRゆえスタート ダッシュを得意とする。オープニングラップの第一コーナーではベナーニに先行を許す。が、コロネルは冷静だった。プッシュしながら も前を行くベナーニのタイヤのグリップ力が低下しつつあることを見て取る。そしてチャンスが訪れる。17周目の第一コーナー、一気に ベナーニのインを差しトップに躍り出る。そこからは誰にも邪魔されることなくトップを快走し、後続のベナーニに2.2秒もの大差を つけ余裕でチェッカーを受けたのだった。コロネルにとってWTCC今季2勝目、験のいい日本ラウンドでは3勝目となった。

zuka, 2

